



バリューチェーンを通じた顧客満足の追求

重要なステークホルダー

お客様、従業員、協力会社（調達・生産・物流・施工）、工場および建築現場周辺にお住まいの方

無形資産としてのビッグデータの活用とステークホルダーとの協働で「最高の品質と技術」を実現しながらグループ各社との連携によって、お客様の暮らしを長期にわたりサポートします

背景

多様化するお客様ニーズにバリューチェーン全体で応えていくことが重要

技術の著しい進化や社会要請の急激な変化によって、住まいに求められる価値は多様性を増しています。将来のビジネス環境の変化まで視野に入れると、お客様に最適な価値を提供するための企業のアプローチも、これまでとは大きく変化しつつあります。

例えば、生活者にとっての最適解を、顕在的・潜在的ニーズから読み解いていくためには、蓄積されたビッグデータの活用や設備メーカーなどサプライヤーとの共同開発も欠かせません。

また、人口減少の中で熟練技能者の育成や建設作業のディーセントワーク※化、環境や社会的要請に配慮した調達でも、バリューチェーンでの協働や戦略的な働きかけがますます重要性を増しています。

さらに、日本では住宅の資産価値が、欧米に比べて経年で低減する傾向にあります。良質な住宅を建て、その価値を維持・向上させていくことは、持続可能な社会を実現する重要な要素です。

※ 働きがいのある人間らしい仕事

アプローチ



目指す姿

業界屈指のビッグデータを活用し、卓越した性能・品質・アフターサポートで「長期にわたる良質な資産」を実現

バリューチェーンを通じて顧客価値を最大化するためには、トータルな事業シナリオづくりが求められます。そこでポイントとなるのは、お客様のニーズと社会変化を先取りするために多彩なチャンネルで蓄積した業界屈指

のビッグデータです。これをグループ全体で活用し、サプライヤーとも共有することで、他社が追従できない性能・品質・アフターサービスを実現するとともに住宅が良好な社会資産となる市場を形成します。

① 住まいづくりの前に

地域密着型事業の特性から、住まいづくりが社会に開かれたものになるように双方向の情報交流と生活ニーズの変化の把握に努めています。

研究開発

お客様の貴重な意見や、社会の新たなニーズを反映して、ハード・ソフト両面からの研究開発を推進しています。

展示場・見学会など

地域特性を生かした展示場や、オーナー様のご協力で開催している建築現場見学会、体験型施設等の来場者などの意見を収集しています。

② 住まいができるまで

工業化住宅のメリットを生かして構造安全性を確保しつつ、設計の自由度を高めてお客様のニーズに応じた住宅を、自社グループによる高い精度の責任施工体制で実現しています。

サプライチェーン

住宅は、膨大な部材を使用するため、質の高い優良なサプライヤーとの協働や連携を重視しています。

生産

高品質・高精度のオリジナル部材による「邸別生産」を、自社工場で実現しています。

施工

施工システム、人材育成、積水ハウスグループの最大の強みでもある「積水ハウス会」との連携などを通じて高い施工精度を安定的に確保しています。

③ いつまでも安心快適に

アフターサポートの充実によって、住宅の長寿命化を実現し、リフォーム・リノベーションにより、価値の維持・向上を図っています。

アフターサポート

全従業員の1割に当たるカスタマーズセンター専任スタッフがサポートしています。

長期保証

長寿命な住まいを実現するために構造躯体と雨水の浸入を防止する部分について初期30年保証を実現しています。

リフォーム・リノベーション

お客様の幅広いニーズに応えるとともに長期にわたる良質な資産の形成と資源の有効活用に向けた取り組みを強化しています。

活動方針

1 ハード(技術開発)・ソフトの融合で
安全・安心・快適・健康を実現

「納得工房」来場者94万人など、たくさんのお会いから得たビッグデータも活用し、ハード・ソフト両面から研究開発を推進しています。ハード面では半世紀以上にわたって積み上げてきた「最高の品質と技術」により、安全・安心・快適を実現。ソフト面では、「幸せ」という無形資産の研究を行い、「健康」「つながり」「学び」などの新機軸での価値創造を図っていきます。

2 資材調達における
きめ細かいサプライチェーン・マネジメント

数万点の部材を利用する住宅において、当社が重視する価値を理解し、製品化に配慮するサプライヤーとの協働は、多様化するニーズに対応するための重要な要素です。また、ESG投資への関心が高まる中、持続可能性の高い調達を推進するなど、当社・サプライヤー双方にとっての長期メリットの創出を目指し、連携関係を強化していきます。

3 生産・物流における品質および
業務効率の向上

主要構造部材は、厳格な品質管理体制のもと、すべて自社の工場で「邸別生産」しています。多品種・小ロットの邸別生産と合理性を両立させつつ、常に性能・品質が安定した高精度な部材を供給するため、生産ラインの自動化やAI、IoT、ロボット技術の活用を推進しています。

4 施工力の強化と工事力の最大活用に向けた取り組み

自社工場で作成した高い性能・品質を有する部材を、高い精度で現場施工していく上で、グループ会社や協力工事店(積水ハウス会)との強い連携と約9千人の施工技能者は、大切な存在であり、大きな強みです。

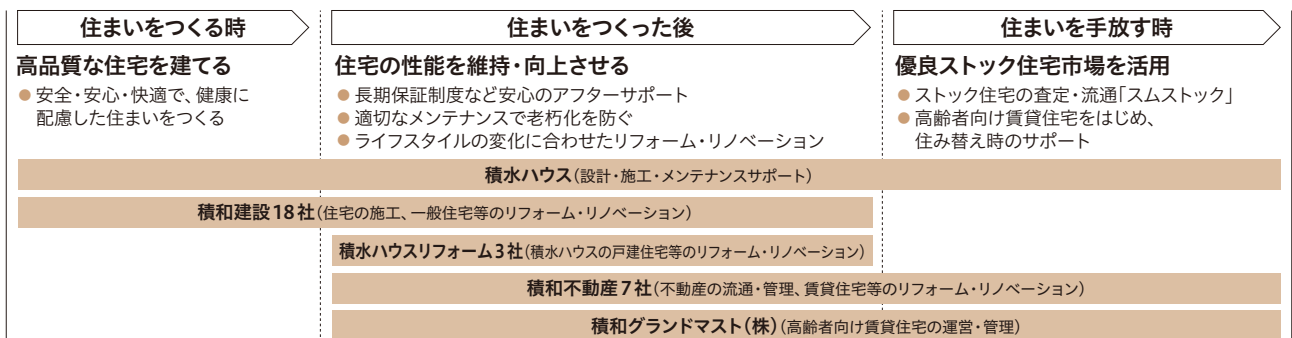


安全・安心・快適な住宅を積水ハウス会とともに

5 お客様の暮らしを長年にわたってサポートし、住宅の資産価値を維持・向上

「ライフステージを超えて住み継がれる住まい」を目指し、当社グループ各社の「多様なチカラ」を結集して、個々のお客様にとっての最適なメンテナンスや資産管理を提案します。補修や設備の更新、快適性・利便性の向上などを目的とするリフォームにとどまらず、大規模な改変や用途変更などを伴う「リノベーション」もニーズに応じて実施し、常に最高レベルの安全・安心・快適を提供することで、お客様の満足度を高めます。そして、住宅が良好な社会資産となる市場を形成し、投入する資源を削減して資源の有効活用につなげます。

グループ連携によるお客様のライフステージに応じた安心のサポート



活動が社会に及ぼす影響

当社は「最高の品質と技術」を追求し累積建築戸数242万戸の良質な住宅を提供してきました。この実績に立脚した、住宅の基本性能に関する技術はもちろん、CSR調達、生産技術の向上、施工技能者の業務負荷を低減しながら高品質を維持する施工技術、長期保証制度など、業界をリードする取り組みを推進してきました。また、グループ

でアフターサービス、リフォーム・リノベーション等を提案・提供することで、住宅の資産価値が高い水準で維持され、良好な社会資産が蓄積されてきています。このようにバリューチェーンでサプライヤーとの協働を図り、良質な住宅の普及と維持向上に取り組むことで、住宅の資産価値向上と優良ストック市場の構築を先導します。

進捗状況

1 ハード(技術開発)・ソフトの融合で安全・安心・快適・健康を実現

活動報告

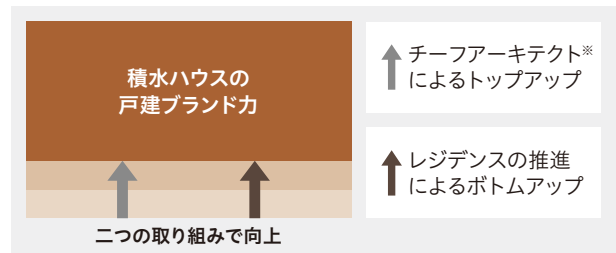
邸情報の一元管理システムを活用し、さらなる戸建住宅のブランド化を追求

邸情報の一元化実現により、「お客様情報」や「メンテナンス等の履歴情報」、「設計情報」や「部材情報」などを集約。業界屈指のビッグデータを活用し、お客様ニーズや社会変化を先取りした提案につなげています。これらのビッグデータは良質な住宅を提供し続ける上でも大変有効であり、優良な社会資産を次世代に残す使命と責任を担う当社グループにとって貴重な資産であると認識しています。

まちの財産となる「美しい家づくり」を推進するために、2017年に「レジデンス評価指針」を創設しました。環境やまちなみへの配慮が行き届いているか道路面の外観デザイン等を客観的に評価・見える化するもので、「外構・植栽計画」「建物外観デザイン」に関する10項目で構成しています。戸建住宅全物件を評価しブランド価値の向上を図っています。

さらに、2014年から運用を開始している、まちなみ景観の向上を目的とした評価制度「 commons」と連動させることで、お客様にとっても、社会にとっても良質な資産となるまちなみづくりを推進しています。

戸建住宅ブランド価値の向上の要素



※「チーフアーキテクト」とは、当社社内資格であり、質量ともに高い設計能力を有し、他の設計社員の模範となる資質を有する従業員のこと。

期待できる成果

- ① 建物の質的向上
- ② お客様満足度向上
- ③ 人材育成(ボトムアップ)
- ④ 事業の継続性につなげる



レジデンス評価のポイントを押さえて、美しくデザインされた外観



お客様にも社会にも良質な資産となるまちづくり(福岡アイランドシティ)

お客様ニーズに応える新技術・新商品を開発し、非住宅にも展開

積水ハウスは「安全・安心・快適」な高品質の住宅を提供してきました。これを実現するのはハード・ソフト両分野の研究開発推進による先進技術です。2018年には、構造技術開発と「幸せ」研究の成果を掛け合わせた、大空間リビングを中心とする新しい住まいづくり「わが家だけのファミリースイート」の提案を開始。30~40坪の住まいで約30帖の大空間リビングが、同じ外形の従来型プランよりもコストを抑えて実現できるようになりました。

また、1997年に開発した、3階建て住宅向けの重量鉄骨梁勝ちラーメン構造「βシステム構法」は、柱の位置を自由に移動でき、各階の間取りや窓の位置などの自由度が高いという特長があります。2017年にはさらに設計自由度や空間提案力を高めた新構法「フレキシブルβシステム」を開発。戸建住宅や賃貸住宅、店舗併用住宅や高齢者向け住宅に加え、保育園やホテル、病院、公共施設などの非住宅にも対応できるようになりました。



先進技術と設計提案力で、大空間リビングを実現



フレキシブルβシステムで建築した病院(ふたば医療センター附属病院・福島県)

ハード・ソフト両面からの研究開発に加え、「住めば住むほど幸せ住まい」研究を開始

住まいの安全性・快適性を追求し、品質の向上を図ってお客様ニーズに応えていくことは住宅メーカーの使命です。当社は1990年に「総合住宅研究所」を開設し、住宅の基本性能の検証や評価をはじめ、健康で快適な生活を目指したさまざまな研究開発や、暮らしと住まいのあり方に関する調査研究などに取り組んできました。自社内での検証や研究は迅速な課題発見と解決につながり、重量鉄骨造「βシステム構法」や制震システム「シーカス」、空気環境配慮仕様「エアキス」など、当社独自の強みとなる技術を生み出しています。

総合住宅研究所内に生活者をつくり手が対話しながら住まいのあり方を考える場として「納得工房」を設置し、年間約3万人の来場者と双方向の情報受発信を行っています。また、大阪駅前のグランフロント大阪内には

「住ムフムラボ」を開設し、住まいや暮らしに関する情報受発信拠点・研究開発拠点として、さまざまなステークホルダーとオープンイノベーションによる共創研究を推進しています。

2018年8月には、企業では日本初となる幸せを研究する「住生活研究所」を開所し「住めば住むほど幸せ住まい」研究を開始しました。ここでは、安全・安心・快適といった積水ハウスが長年こだわり続けてきた研究テーマに加え、「健康」「家族のつながり」などの「幸福感」を追求するテーマに取り組めます。また、「住めば住むほど幸せ住まい」のノウハウを科学的・理論的に明らかにすることで、住まい手が幸せに気づき、実感できる「幸せ住まい」を提案し、住まいとコミュニティの「幸福感」を高めています。



構造実験場での耐震性を検証する実大振動台実験



人工気象室での断熱性と快適性の検証実験

空気環境配慮仕様「エアキス」につながったアレルギー原因物質などの調査



「住めば住むほど幸せ住まい」概念図



「幸せ家事デザイン」の実証実験として取り組んだ、複数人での調理動線実験

主要指標の実績(KPI)

指標	単位	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
制震システム「シーカス」搭載率(鉄骨2階建て戸建住宅)	%	87	89	94	96	96	96
空気環境配慮仕様「エアキス」搭載率(鉄骨戸建住宅)	%	78	80	85	87	88	91

評価

「シーカス」「エアキス」搭載率は高水準を維持しています。

ITを活用した「邸情報の一元化」の実現により、生産性や業務効率、お客様へのサービスの向上を果たすことができました。また、ハード・ソフト両面での研究開発の推進により、設計自由度や空間提案力をさらに高めた新構法を開発し、新商品を発売。多用途の建築ニーズへの対応の幅が広がりました。

今後の取り組み

「シーカス」「エアキス」は引き続き当社独自の強みとしてお客様に積極的に提案していきます。

各工程でのITの活用方法をさらに進化させるとともに、お客様ニーズや時代の流れへの感度を高めて、ハード・ソフト両分野での研究開発を進めます。同時にステークホルダーと対話しながら業界をリードする提案を続け、住まい手の安全・安心・快適・健康をさらに向上させていきます。

2 資材調達におけるきめ細かいサプライチェーン・マネジメント

活動報告

大量かつ多数の資材を使用し、すそ野の広い住宅産業は、サプライチェーンに対しても少なからぬ影響力を持っています。当社では、企業が長期的な企業価値を最大化するためには、サプライチェーンを通じて環境・社会課題の解決に対して及ぼしうる影響力を積極的に視野に組み込むことも重要な「戦略」だと認識しています。同時に、サプライチェーンを育て、共存するための取り組みも重要な柱と位置付けて活動を進めています。

調達方針

当社では、「企業理念」「企業行動指針」に基づく調達活動を遂行するために、2007年から「8つの調達方針」を掲げて、遵守・推進してきました。



取引先とのエンゲージメント

公平・公正な取引継続に向けて、調達方針に基づく「取引先評価」を実施し、改善に役立つように各社に結果を開示しています。

同時に、安定した企業体質と品質管理があって初めて高いレベルでの調達方針の実践が成り立つと考え、主要取引先には工場訪問や品質管理体制の確認などを継続的に実施しています。

また、調達方針との整合性を図り、相互理解を深めるために主要な取引先約150社参加のもと、毎年「方針説明会」を開催しています。ここでは、最新の経営計画や調達方針、商品戦略などを説明し、取引先の活動指針となる情報を提供し、優良企業に対する顕彰を行うとともに、ベストプラクティスの共有を図っています。



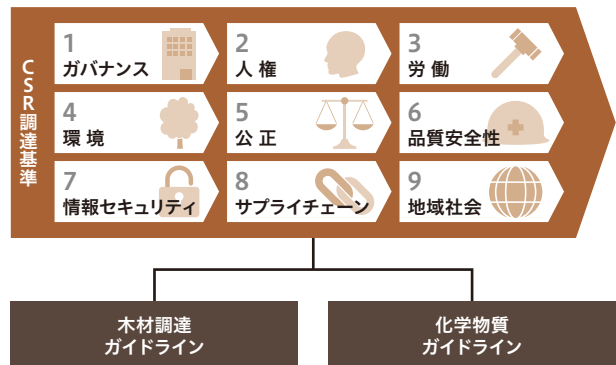
取引先に対する方針説明会

CSR調達からSDGs調達(持続可能な調達)へ

サプライヤーのCSRに関する取り組みの促進に向けて、当社の定めた「CSR調達ガイドライン」の趣旨に賛同いただけるように、チェックシート方式による「CSR評価」を実施しました。これは、ISO26000の7つの中核主題の視点で事前に自社の評価をしてもらい、結果を点数化・評価するものですが、今期は、全企業平均86.2点(前年比1.2ポイントアップ)でした。また、評価結果から判明した注視すべきサプライヤーに対しては、個別訪問でのモニタリングを実施しており、2018年度は5社に対して実施しました。

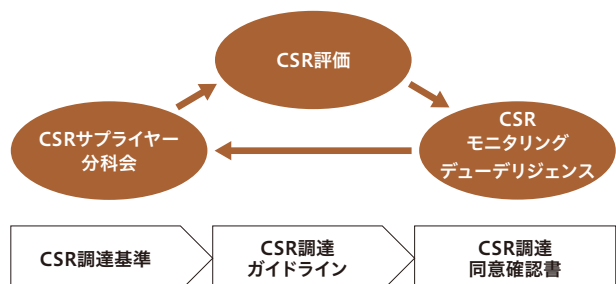
2018年8月のUNGC(国連グローバル・コンパクト)への署名を契機に、当期はGCNJ(グローバル・コンパクト・ネットワーク・ジャパン)の策定した基準に準拠し、9項目の調達基準に沿った48項目に改定しました。2019年度からはこれに基づく評価を行い、従来の社会的責任に配慮した調達からさらに進め、持続可能な社会構築に向けたサプライチェーンへの積極的な関与(SDGs調達)を進めていきます。

GCNJが策定した基準に準拠したCSR調達ガイドライン



「持続可能な調達」に向けた連携の強化

持続可能な調達のためには、サプライヤーへのアドバイスや協働をより密接なものにすべきと位置付け、木材生産地の視察などデューデリジェンスも含めた運用を強化していきます。



3 生産・物流における品質および業務効率の向上

活動報告

積水ハウスでは、ビッグデータを活用し、部材も一邸ごとにカスタムメイドする「邸別生産」を行っています。多品種・小ロットの生産と合理性を両立させつつ、性能・品質が安定した高精度な部材を常に供給するため、主要構造材の生産自動化やロボット技術の導入を推進しています。

また、従業員・委託業者の労働災害や健康被害を未然に防止するための安全衛生管理に努めるとともに、快適な職場環境づくりに努め、作業の円滑化と生産性の向上を図っています。

AI 技術による品質検査システムを導入

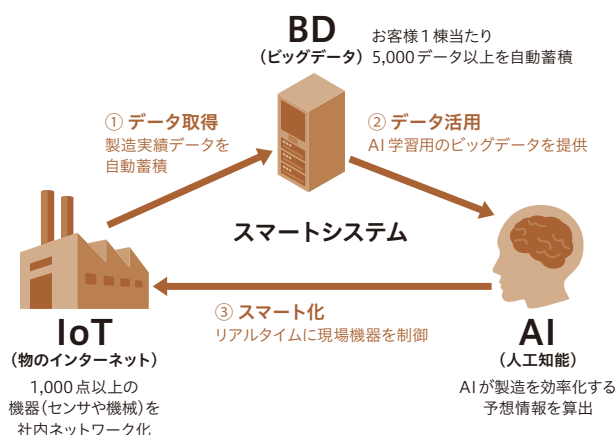
積水ハウスの木造住宅「シャーウッド」の8割超で採用されるオリジナル陶版外壁「ベルバーン」は、優れた耐候性や耐久性、強度を持つ高級外壁材です。

粘土を主体とした材料に釉薬をかけて焼き上げるため、従来は凹みや膨れなどは最終検査段階で、熟練技術者が目視で行っていました。今般導入した製造工程への画像処理に特化したAIによる品質管理システムで、リアルタイムに良品出来高を管理することができるようになり、生産効率化と品質管理の強化、品質向上、ならびに在庫の4割削減によるコストダウンを実現しました。

AI 搭載の製造スマートシステムを自社開発

3・4階建て鉄骨住宅向け構法である「βシステム」の梁を製造するラインに、IoT・ビッグデータ・AIを駆使したスマートシステムを導入しました。自動で蓄積された過去の製造情報(ビッグデータ)をAIが学習し、製造状況

に適した判断を自動で行います。このスマートシステムにより、これまで管理者のノウハウで行っていた生産量や勤務体系の調整を自動化するとともに、AIによる製造ラインの動作効率化と省電力運転を実装し、生産性31%向上、労働時間9%削減、使用電力12%削減を実現しました。



労働環境の整備

各工場では、業務遂行中に発生するおそれのある災害や健康被害を未然に防止するために、必要な安全衛生管理を行い、従業員の安全と健康を確保するとともに、快適な職場環境を形成し、作業遂行の円滑化と生産性の向上に努めています。月1回、安全衛生委員会を開催するとともに、四半期に一度、全工場で「生産部門 安全衛生推進会議」を開催して、各工場の現状や改善内容、将来展望などを共有しています。

主要指標の実績(KPI)

指標	2012年度を100とした指数						
	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
損益分岐点出荷面積	100	100.9	102.4	98.5	93.1	96.3	97.2
施工現場からの苦情・異常件数	100	98.0	75.6	56.7	60.7	47.5	32.8

評価

生産ラインの整備・増強などにより、複数の工場での部材生産が可能となり、自然災害などにより、いずれかの工場が被災した際にも生産を継続できる体制が整いました。また、AI技術やロボット技術の導入により自動化を推進する工程と、従業員の技能による工程の区別がより明確となり、品質や業務効率の向上、労働環境の整備を進めることができました。

今後の取り組み

施工現場の作業効率の向上や省力化に寄与するため、引き続き、工場内での部材のプレ加工や組み立て、現場に納品する部材の形態改善に努めます。

また、快適な職場環境づくりによる作業性の向上が生産性の向上につながるという認識のもと、委託業者を含めて、生産部門での働き方改革にも引き続き注力します。

4 施工力の強化と工事力の最大活用に向けた取り組み

活動報告

日本の建設業就業者は、3人に1人が55歳以上であり、高齢化が進行しています。建設業就業者は減少傾向にあり、新規入職者の確保・育成と定着率向上が業界全体の課題となっています。

積水ハウスグループでは、継続的に安定した施工力を確保して品質向上・お客様満足度向上を実現するために、施工技術の深化を図るとともに、各種制度を活用しながら協力工事店との組織力を強化し、既存の工事力を最大限に生かすための取り組みを推進しています。

「積水ハウス会」との協働

積和建設18社や協力工事店による「積水ハウス会」は、積水ハウスの各事業所と連携し、施工品質の向上、安全対策、現場美化、人材の育成、労働環境の整備など、さまざまな取り組みを進めています。

自然災害発生時における復旧・復興工事においても、全国組織の強みを生かして、各地の「積水ハウス会」から多数の技能者を被災地に派遣。継続的に安定した施工力を確保し、最大限に活用することで増加する建設需要に応えています。

施工マスター制度、積水ハウスリフォームマスター制度

積水ハウスの施工現場における優れた技能者を顕彰する制度として「施工マスター制度」等を設けています。当社全体の施工品質レベル向上への貢献、高度な技能の伝承など、他の模範となり活躍することで、すべての施工技能者のモチベーション向上、協力工事店との「運命協団体」意識が強化されることを期待しています。

教育訓練センター・訓練校を運営

積水ハウスは、第一線で活躍できる若い人材を育成することを目的に、厚生労働省認定 職業能力開発校を直接運営しています。東日本(茨城県古河市)、中日本(滋賀県栗東市)、西日本(山口県山口市)の3カ所に設置し、積和建設各社や協力工事店に採用された技能者を対象に、技術・技能をはじめ、社会人として必要な教養やマナーを身につける訓練を行っています。

修了生は全国各地で施工技能者や施工管理者として活躍。若い力が現場に活力を与え、工事力の強化に貢献しています。修了後も実務経験やレベルに応じて、継続して技術・技能を向上させるために各種研修を受講することができます。

施工従事者の作業負担を軽減

Ekso Bionics社が開発した上向き作業用アシストスーツ「Ekso Vest」を改良し、2018年12月から順次導入。作業負担の軽減と安全性確保を推進しています。

一般的に作業負担を軽減するアシストスーツは、主に下半身に装着し、荷上げなどの単純動作を補助する製品が多くを占めます。しかし、複合的な動作を伴う建設作業においては課題が多いと考え、上向き作業の姿勢保持を目的としたアシストスーツに着目しました。



主要指標の実績(KPI)

指標	単位	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
施工従事者(基礎・建方・大工)	人	10,518	10,393	9,843	9,351	8,792
教育訓練センター・訓練校修了者(累計)	人	2,385	2,480	2,568	2,638	2,711
セキスイハウス主任技能者検定合格者(累計)	人	14,067	14,808	15,012	15,214	15,462
施工マスター認定者	人	318	305	325	312	292

評価

完全子会社の積和建設18社と協力工事店による責任施工体制で、確かな施工品質を確保しています。長い年月をかけて構築してきた「積水ハウス会」との共存共栄が、施工力の確保が難しい状況下にあっても積極的な事業活動を支え、当社の強みとなっています。

今後の取り組み

一層の「積水ハウス会」との連携強化を図ります。また、各事業所・各部門と協力して、工事の平準化、施工生産性の向上、先進技術導入による工事力の最大化を進めます。また、新規施工技能者の確保・定着のため教育訓練センターを活用し、働き方改革にも取り組んでいきます。

5 お客様の暮らしを長期にわたってサポートし、住宅の資産価値を維持・向上

活動報告

グループの「多様なチカラ」を結集して、お客様の住まいを長期にわたってサポート

長期にわたって使用される「住宅」では、引き渡し後のサポート内容の質が重要になります。当社では全従業員約1割をカスタマーズセンターの専任スタッフに充て、約81万棟の戸建住宅、約23万棟の賃貸住宅にお住まい

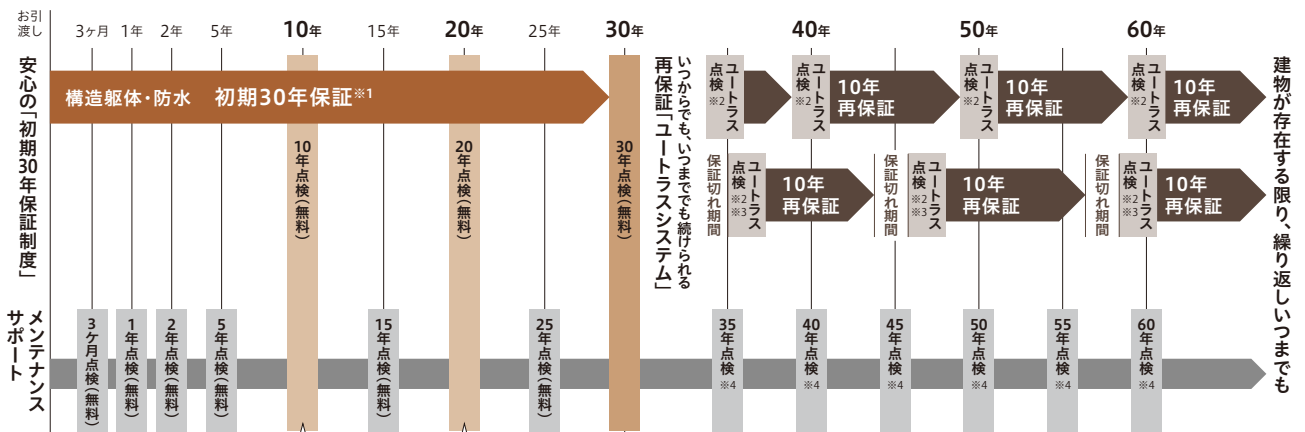
のお客様の暮らしを、日常的な補修やリフォーム相談から資産管理に至るまで専門的観点からサポートしています。自社組織であるからこそ、お客様の意見を素早く製品開発や管理体制などに反映できます。

「初期30年保証制度」・「ユートラスシステム」と住宅履歴情報データベース「いえろぐ」の充実

積水ハウスでは、構造躯体と雨水の浸入を防止する部分について、「住宅の品質確保の促進等に関する法律（品確法）」で義務化された10年間の瑕疵担保責任期間に、20年間の保証を加えた「初期30年保証制度」を適用。その他、各部位についてもそれぞれ期間内の保証を行っています。また、保証終了後も独自の「ユートラスシステム」で、10年間の再保証が繰り返し受けられます。

さらに、長期にわたって使用可能な質の高い住宅ストックの形成を目指す長期優良住宅認定制度に基づいて、一邸ごとに多数の建築部材などを電子情報として共有する「いえろぐ」を運用しています。グループ各社が「いえろぐ」に蓄積された履歴データを活用して純正のリフォーム・リノベーションを提案しています。

安心の「初期30年保証制度」(2018年4月1日以降にご契約のお客様を対象)



※1 構造躯体と防水に関する初期30年保証継続のためには、10年点検および20年点検を必ず受けてください。
 ●お引渡し後10年時・20年時には、カスタマーズセンターのテクニカルサポーター（住宅診断士）が住まいの点検（無料）や補修のご提案を行います。
 ●10年・20年点検時に当社が必要と判断した補修工事（無償工事）を行うことが前提となります。
 ●天災・事故による損傷や当社以外の業者による増改築などによって当社の保証基準を満たさない場合は、保証の適用除外となります。

※2：ユートラスシステムは必要な有料点検・有償補修工事を行うことで、その後の10年を保証するものです。また、この保証は途中いつからでも建物が存在する限り繰り返し受けることができます。
 ※3：築何年経過した中古住宅の場合でも、ご購入いただいたお客様には有料点検・有償補修工事を行うことで再保証が繰り返し適用されます。
 ※4：35年目以降の点検・補修はすべて有料・有償となり、お客様のご依頼により実施します。
 ※長期優良住宅は認定申請時の維持保全計画書に基づいて30年目までの定期点検（無料）を行ってください。

リフォーム・リノベーションでもバーチャルリアリティ技術を導入

積水ハウスグループでは、新築設計検討時に導入しているVR（仮想現実・バーチャルリアリティ）技術を、リフォーム・リノベーション計画でも活用し、お客様に具体的な空間イメージをお伝えしています。インターネットを利用して、パソコンやスマートフォン画面に360度全方向の画像を表示。見る方向を自由に変わることができます。また、臨場感あふれる3D画像でも仮想体験でき、より一層、プランのイメージを実感いただけます。積水ハウスのリフォームグループ、積和建設グループにおいて2018年に導入し、事例見学会等のイベントで

VR体験会を実施。お客様とのコミュニケーションを深め、お客様のご要望をより具体的に知るツールとして、ますます利用が進んでいます。



VRスコープ 空間イメージ例(360度展開可能)